

# としま丸しんぶん

二八

編集 さいたま市図書館  
 「としま丸しんぶん」編集委員会  
 発行 さいたま市立中央図書館  
 浦和区東高砂町11-1  
 コムナーレ8階  
 電話 048-871-2100  
<http://www.lib.city.saitama.jp/>  
 けいたいでんわ  
<http://www.lib.city.saitama.jp/m/>

## 見沼の竜神伝説のまき

今年(ことし)は辰年(たつどし)だね。「辰(たつ)っていうのは、竜(りゅう)のことだよ。」

竜(りゅう)って、角(す)やするどい爪(つめ)を持つ不思議(ふしぎ)な姿(すがた)をしているよね。これは、九(ここの)つの動物(どうぶつ)の体(からだ)をくっつけているからなんだ。だからこんなに強(つよ)そうなんだね。

ラクダのあたま

シシのたてがみ

シカのつの

ウサギ(またはオニ)の目

トラの手  
タカをつめ

ハマグリのおなか



ヘビのからだ  
コイのうろこ

実は(じつ)さいたま市(し)にも、竜(りゅう)の伝説(でんせつ)が残(せ)っている場所(ばしょ)があるんだ。その一つ(ひとつ)が「見沼(みぬま)田(た)んぼ」。

昔(むかし)、この場所(ばしょ)は大きな沼(ぬま)で、「見沼(みぬま)の主(ぬし)」という竜神(りゅうしん)がすんでいるといわれていたんだ。さいたま市(し)のマスコット「つながり竜(りゅう)ヌウ」も、この竜神伝説(りゅうしんでんせつ)からきているんだよ。



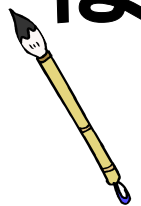
参考(さんこう) 『見沼(みぬま)と竜神(りゅうしん)ものがたり』  
 さいたま竜神まつり会(さいたまりゅうしんまつりかい) 編(へん)

『騎士(きし)とドラゴン』  
 トミー・デ・パオラ(トミー・デ・パオラ) 作(さく)  
 岡田(おかだ)淳(じゆん) 訳(やく) ほるぷ出版(ほるぷしゅつぱん)

ヨーロッパ(ヨーロッパ)では竜(りゅう)は「ドラゴン」(ドラゴン)とよばれている



# おてがみひろば



としま丸(たままる)はいつも何時(なんじ)にねて、何時(なんじ)におきるんですか？  
 教えて(おしえて)ください！  
 ゆったんさん

なんです(なんです)が(が)たを(を)あらわさないの？(の？) みんな(みんな)さが(さが)してるよ  
 えりかさん

朝(あさ)は、お日(ひ)さま(さま)が(が)のぼ(ぼ)って(て)くる(くる)ころ(ころ)にお(お)きて(きて)いる(いる)よ。夜(よる)ねむ(ねむ)る(る)のは(のは)9時(じ)ごろ(ごろ)。ぼく(ぼく)は(は)ふとん(ふとん)の中(なか)に入(はい)ると、す(す)ぐ(ぐ)に(に)ね(ね)む(む)れる(れる)んだ！(んだ！) ねむ(ねむ)って(って)い(い)ても(も)、何(なに)か(か)おこ(おこ)つ(つ)たら(ら)す(す)ぐ(ぐ)に(に)お(お)き(き)ら(ら)れる(れる)の(の)が(が)、一(いち)人(にん)前(まえ)の(の)忍(にん)者(じゃ)だ(だ)。て(て)き(き)が(が)せ(せ)めて(めて)来(き)ても(も)、だ(だ)い(だい)じ(じ)ょう(じょう)ぶ(ぶ)な(な)よう(よう)に(に)ね(ね)。な(な)か(か)な(な)か(か)お(お)き(き)ら(ら)れ(れ)ない(ない)ぼ(ぼ)く(く)は(は)、ま(ま)だ(だ)ま(ま)だ(だ)半(はん)人(にん)前(まえ)だ(だ)な(な)あ…。

ふ(ふ)ふ(ふ)ふ(ふ)、ぼ(ぼ)く(く)た(た)ち(ち)は(は)忍(にん)者(じゃ)だ(だ)から(から)ね(ね)。出(で)か(か)ける(ける)時(とき)にも(も)木(き)の上(うへ)や(や)も(も)の(の)か(か)げ(げ)を(を)と(と)お(お)つ(つ)て(て)、で(で)きる(きる)だ(だ)け(け)見(み)つ(つ)か(か)ら(ら)ない(ない)よう(よう)に(に)し(し)て(て)い(い)る(る)んだ(だ)よ(よ)。

でも(でも)、ぼ(ぼ)く(く)と(と)し(し)ま(ま)丸(まる)子(こ)は(は)と(と)き(き)ど(ど)き(き)、図(ず)書(しょ)館(かん)の(の)大(おお)き(き)な(な)イ(イ)ベ(ベ)ン(ン)ト(ト)に(に)さん(さん)か(か)す(す)る(る)こ(こ)と(と)も(も)あ(あ)る(る)よ(よ)。み(み)ん(ん)な(な)に(に)会(あ)う(う)こ(こ)と(と)が(が)でき(でき)る(る)から(から)、と(と)も(も)楽(たの)し(し)み(み)に(に)し(し)て(て)い(い)る(る)んだ(だ)！

このコーナーは、としま丸しんぶんをよんでいるきみと、としま丸をむすぶコーナーです。てがみは、としま丸ポストへいれてね！なまえをのせてもいい人は、なまえもかいてね (ペンネームでもいいよ)



『世界でいちばんやかましい音』 ★  
 ベンジャミン・エルキン 作 松岡享子 訳 こぐま社



むかし、やかましい音が大好きな王子さまがいました。もうすぐたんじょうびの王子さまは、ほしいものをきかれて「ぼく、世界でいちばんやかましい音が聞きたい」と、いいました。そこで王さまは、世界中の人たちに、その日は、おなじじこくに、さけぶようと命じます。世界でいちばんやかましい音って、いったいどんな音なのでしょう？

『りこうすぎた王子』 ★★  
 アンドリュー・ラング 作 福本友美子 訳 岩波書店



むかしむかし、パントウフリヤという国に、プリジオという王子がいました。王子はあまりにりこうすぎるので、自分の知識をひけらかし、みんなからきらわれていました。

ある日、王子はうつくしい娘 ロザリンドをすきになりました。そして、いつものいや味な話しかたをやめたうえに、彼女に、あすの晩までに怪物ファイアドレイクの角を取ってくると、約束までしてしまったのです。

『ガラスのくつ』 ★★★  
 エリナー・ファージョン 作 石井桃子 訳 岩波書店



エラは、かわいい足をもった16歳の女の子。エラが暮らしているのは寒くて暗い地下室です。いい部屋はいじわるなママ母とねえさんたちが占領し、エラはいつもこき使われているのです。

ある日、エラたちの家に、王さまの伝令官がやってきました。今夜、宮殿で、王子さまの花よめさがしの舞踏会が開かれるというのです。伝令官はエラにも招待状をわたしました。まるで夢のようにすてきなことです！

ほん こんな本もどう？

『エジプトのミイラ』 アリキ 作 神鳥統夫 訳 あすなる書房



エジプト人は、人が死んでも、魂はいつまでも生きてると、信じていました。体から魂がぬけだして、この世と死の国のあいだをいたりきたりするのは、魂が帰ってくる体を残すために考えられたのが、ミイラです。なかでも、いちばんの大金持ちである王、ファラオたちのミイラは、特別ぜいたくにつくられました。

この本では、ミイラがどのようにつくられていたのかが、詳しくしょうかいされています。

『中世の城日誌』 リチャード・プラット 作 クリス・リデル 絵 ながともけいこ 訳 いわなみしよてん



1285年のイギリス。11才の少年トビーが1年間、伯父の城へ住み込みの小姓修行にでました。そこでの出来事を後でお母さんに話せるように書いた日誌です。当時の貴族のマナーや医師による治療方法などが紹介されています。

いきいきとした日誌の絵から、当時の様子が伝わってきます。小姓とは騎士の従者

としょ丸としかん

おうじ 王子さま おひめさま

お城には どんな人たちが すんでいるのかなあ。きれいなふくに、ごうかな しょくじ。どんなくらしをしているのか こっそり のぞいてみよう。



しゅりけん ★ が ぶえると だんだん むずかしくなるけれど チャレンジしてみてね！

『おしゃべりなたまごやき』 ★  
 寺村輝夫 作 長新太 画 福音館書店



ある日、王さまは、きゅうくつそうにしていた、にわとりを、助けようと、とりごやを開けてしまいました。すると、にわとりが全部にげだし、大さわぎ。王さまは、みんなに本当のことが言えなくなり、もっていたかぎを、すててしまいました。それを、1わのめんどりに見られてしまったので、「だれにも言うなよ。」と言ひ聞かせました。

ところが、そのめんどりのたまごを、めだまやきにしてたべようとしたとき、だれかさんのこえが聞こえてきたのです。

『なまけものの王さまとかしい王女のお話』 ★★  
 ミラ・ローベ 作 佐々木田鶴子 訳 徳間書店



ある国に、ナマケモノのふとった王さまと、ピンピとよばれる王女さまがいました。ピンピは王さまとは正反対で、いつも元気に走りまわっていました。

ある日、王さまは国中の医者さまがみてもなおらない病気にかかってしまいました。そこで、ピンピは城を抜け出し、一人で魔法の薬を探しにいきます。

『ミオよ、わたしのミオ』 ★★★  
 アストリッド・リンドグレン 作 大塚勇三 訳 岩波書店



9才のボッセは、いじわるなおじさんとおばさんにもらわれて、くらしていました。ある日、魔神をすくったボッセは『はるかな国』へいくことになりました。そこにはおとうさんの王さまが待っていたのです。

ボッセのほんとうの名はミオ。おとうさんや新しい友だちと楽しい時間をすごしていましたが、子どもをさらうおそろしい敵、カトーのことを知ります。みんなのためにたたかう決心をしたミオは、騎士カトーの国にむかうのですが...

さいたま市の図書館では、ぼくたちが読む本をえらぶ会議があるんだって。

その様子を見てきたよ！



それぞれの図書館のたんとう者が集まって、じっさいに本を見ます。これを、「見計らい」といいます。

本の内容をかくんにして、図書館に入れるかどうかをきめます。

たんとう者が集まっているので、本について話し合うこともできます。



むずかしい漢字にふりがながふられているかしら？

このクジラの本、わかりやすいですね。

この間、クジラについて調べにきた子がいたわ。



絵本のリストを作りました。おくばりします。

\*週に1度、中央図書館でやっています。

(会議の前に...)

新しく出版された本のリストで、どんな本があるのかチェックします。



本を選びおわたたら、それぞれの図書館からのれんらくを伝えます。

編集後記

寒い日が続いているけれど、みんな風邪をひかないように気をつけてね！ 次の「としょ丸しんぶん」は、4月に出るよ。

としょ丸でクエスチョン

としょ丸 やったあ、じゃあ、いったいどのない図書館にまわらうの？



へいかんじかんが閉館時間が変わる図書館もあるから、かくにん確認してからきてね

としょ丸 おにいさん、ねえねえ！図書館のお兄さん！ポスターをみたんだけど、図書館の閉館時間やお休みの日かわるって本当なの？  
としょ丸 うん、本当だよ。お休みの日が月曜日と火曜日に分かれるんだ。  
としょ丸 どうしてかわるの？  
おにいさん 今までは、月曜日、さいたま市の図書館が全部お休みの日があったよね。でも4月からは、年末年始以外なら必ず、どこの図書館で本が借りられるようになるんだ。